

角野中学校 自己評価（保護者）

令和2年1月21日～27日実施

※評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない
それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。

※考察で触れた項目、評価に着色してある。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	令和元年度 肯定的評価 A+B (%)	平成30年度 肯定的評価 A+B (%)
1	学校 イメージ	角中生は中学生らしく、望ましい方向に向上していると思いますか。	30.4	58.7	9.3	1.6	89.1	89.6
2		お子さんを本校に入学させて良かったと思いますか。	30.2	46.8	20.2	2.8	77.0	79.1
3		学校は、学級の様子や学校の様子を積極的に家庭へ連絡していると思いますか。	37.5	51.6	10.5	0.4	89.1	86.7
4	学習指導	先生はわかりやすい授業に努めていると思いますか。	20.2	57.7	19.4	2.8	77.8	73.0
5		お子さんの学力は向上していると思いますか。	14.5	42.7	30.6	12.1	57.3	54.6
6		お子さんは家庭での学習がよくできていると思いますか。	14.5	30.6	37.9	16.9	45.2	44.8
7		お子さんは忘れ物（宿題や提出物）が少ないと思いますか。	34.8	33.6	20.6	10.9	68.4	73.0
8	生徒指導	お子さんの挨拶はよくできていると思いますか。	35.9	49.2	13.3	1.6	85.1	83.5
9		お子さんは学校や社会のルールが守れていると思いますか。	45.2	47.6	6.5	0.8	92.7	94.8
10		学校（教職員）はご家庭との人間関係づくりに努めていると思いますか。	25.4	51.6	19.8	3.2	77.0	73.5
11		学校はいじめのない学級・学校づくりに努めていると思いますか。	25.1	54.7	16.6	3.6	79.8	78.7
12	先生は子どもの間違った行動を適切に指導してくれていると思いますか。	29.6	50.6	15.0	4.9	80.2	79.4	
13	道徳 特別活動	学校は人権・同和教育について家庭や地域に適切な啓発活動を行っていると思いますか。	28.2	62.1	8.1	1.6	90.3	89.2
14		学校は清掃や整備がいきとどき適切な環境になっていると思いますか。	34.7	54.8	9.3	1.2	89.5	88.4
15		学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実していると思いますか。	51.6	43.1	4.8	0.4	94.8	95.6
16		部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。	34.4	44.9	16.6	4.0	79.4	79.8

（考察）

- 昨年度の結果と比べて、肯定的評価が5ポイント以上上下した項目はない。しかし、多くの項目で肯定的でない評価をした保護者が20%を超えている。特に、No.10「学校（教員）は家庭との人間関係づくりに努めている」、No.11「学校はいじめのない学級・学校づくりに努めている」、No.12「先生は子どもの間違った行動を適切に指導している」、No.16「部活動は生徒にとって充実した活動になっている」という項目で肯定的でない評価をせざるを得なかった保護者が20%以上いることは真摯に受け止めるべきであり、その思いを傾聴し、また伝えるべきことを伝えていかなければならない。
- No.5「学力の向上」、No.6「家庭での学習」の評価が依然として低い。生徒自身の評価も、教職員の評価も同様であり、これを改善していくのは我々の取組でしかない。来年度こそ全体的、計画的に取り組まなければならない。

角野中学校 自己評価（生徒アンケート）

令和2年1月21日～28日実施

※評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない
それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。

※考察で触れた項目、評価に着色してある。

No.	評 価 項 目	A	B	C	D	令和元年度 肯定的評価 A+B (%)	平成30年度 肯定的評価 A+B (%)
1	学校生活は、充実している。	59.3	37.1	2.5	1.1	96.4	95.1
2	友達との関係はうまくいっている。	70.7	25.4	3.3	0.7	96.0	96.8
3	先生との関係はうまくいっている。	45.3	47.1	6.9	0.7	92.4	92.3
4	家族とは仲良く生活できている。	76.0	20.0	2.5	1.5	96.0	97.5
5	いじめられたり、いじめを見たり聞いたりしたことがない。	71.4	19.9	3.6	5.1	91.3	88.8
6	周りの人を思いやる行動ができた。	48.9	46.0	4.0	1.1	94.9	95.4
7	あいさつがよくできた。	55.1	35.5	8.0	1.4	90.6	90.2
8	学校での身だしなみは常に整っている。	55.4	37.3	6.2	1.1	92.8	94.0
9	時と場合に応じて、いつもていねいな言葉や敬語が使えている。	47.5	43.8	7.6	1.1	91.3	93.7
10	いつも、時間を守って行動できている。	40.6	48.2	9.8	1.4	88.8	90.5
11	いつも、身のまわりの整理整頓ができています。	52.9	38.0	7.6	1.4	90.9	89.8
12	いつも、清掃を頑張っている。	74.5	22.5	2.2	0.7	97.1	98.2
13	生徒会活動や委員会活動、係の仕事を頑張っている。	74.3	23.2	1.8	0.7	97.5	98.6
14	学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している。	73.6	22.1	2.9	1.4	95.7	97.2
15	部活動は充実している。	59.3	27.6	10.4	2.7	86.9	91.9
16	いつも、教科の授業に意欲的に取り組んでいる。	41.8	45.4	12.5	0.4	87.2	91.9
17	いつも、道徳や特活の授業に意欲的に取り組んでいる。	40.9	47.1	9.8	2.2	88.0	87.7
18	私の学力は向上している。	23.6	46.0	24.3	6.2	69.6	70.5
19	家庭での学習はよくできている。	25.4	45.3	25.7	3.6	70.7	81.1
20	いつも、宿題や提出物は期限を守りきちんと提出できている。	55.4	31.5	10.5	2.5	87.0	86.7

(考察)

- 20項目中13項目で肯定的評価が90%を超えており、生活全般にわたって満足度が高まっていると言えるが、数ポイントでも肯定的評価を下げたものが13項目もあり、4ポイント以上のマイナスとなったものが3項目ある。肯定的な評価が出来なかった生徒の思いをしっかりと受け止める必要がある。
- No.15「部活動の充実」の肯定的評価は昨年から5ポイントのマイナスである。休養日の設定で活動時間が減り、部員数の減少で盛り上がりには欠け、生徒や保護者の多様なニーズに応えにくいる面があったとしても、部活動は部活動なりの意義を打ち出していかなければならない。
- No.18「学力の向上」は、最も肯定的な評価が低い項目である。教職員の自己評価では「授業方法の工夫・改善、わかる授業づくり」で95.7%という高い肯定的評価であるが、結果で生徒の思いに応えたい。その際、「家庭での学習」(No.19)ができていないという生徒に明確な方法を示すことは必須であると思われる。

角野中学校 自己評価（教職員）

※ 評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない
 AとBの回答数の百分率の和を肯定的評価とした。
 ※ 考察で触れた項目、評価に着色してある。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	R1年度 肯定的評価	H30年度 肯定的評価
1	学校運営	角野中の生徒は目標をもち、望ましい方向に向上していると思いますか。	8.7	82.6	8.7	0.0	91.3%	77.2
2		学校は家庭や地域との連携や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	52.2	47.8	0.0	0.0	100.0%	100.0
3	教科指導	授業方法を工夫・改善して、わかる授業づくりに努めていると思いますか。	52.2	43.5	4.3	0.0	95.7%	95.4
4		生徒は授業に意欲的に取り組んでいると思いますか。	13.0	82.6	4.3	0.0	95.7%	86.3
5		生徒の理解度に気を配り、公平に評価をしていると思いますか。	65.2	34.8	0.0	0.0	100.0%	95.4
6		生徒の学力は向上していると思いますか。	4.3	43.5	52.2	0.0	47.8%	45.5
7		生徒は忘れ物（宿題・提出物）が少ないと思いますか。	0.0	21.7	65.2	13.0	21.7%	13.6
8		計画的な家庭学習の手立てをしていると思いますか。	13.0	78.3	8.7	0.0	91.3%	68.2
9	生徒指導	生徒の挨拶はよくできていると思いますか。	0.0	56.5	39.1	4.3	56.5%	68.1
10		生徒は学校や社会のルールが守れていると思いますか。	13.0	73.9	13.0	0.0	87.0%	81.8
11		生徒（保護者）との対話と協働による人間関係づくりができていますか。	21.7	73.9	4.3	0.0	95.7%	95.4
12		いじめなどのない民主的な学級・学校づくりに努めていると思いますか。	52.2	47.8	0.0	0.0	100.0%	95.5
13		生徒に関する情報の共有に努め、チームで対応する生徒指導ができていますか。	52.2	43.5	4.3	0.0	95.7%	86.4
14		生徒の間違った行動を適切に指導できていますか。	39.1	60.9	0.0	0.0	100.0%	100.0
15	特別活動	生徒の清掃活動の状態は良いと思いますか。	47.8	47.8	4.3	0.0	95.7%	86.4
16		生徒会活動や委員会活動は、生徒にとって充実していると思いますか。	21.7	73.9	4.3	0.0	95.7%	90.9
17		学校行事（儀式、運動会、文化祭、宿泊研修等）は生徒にとって充実していると思いますか。	78.3	21.7	0.0	0.0	100.0%	100.0
18		部活動は、生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。	21.7	69.6	8.7	0.0	91.3%	95.4
19	人権・同和教育	人権・同和教育への取組は充実していると思いますか。	17.4	69.6	13.0	0.0	87.0%	72.7

（考察）

- 19項目中14項目で90%以上の肯定的評価（A+B）であり、概ね満足できる自己評価であるが、No.6「学力の向上」、No.7「宿題・提出物」、No.9「挨拶」に依然として大きな課題をもっている。また、今年はNo.18「部活動の充実」で90%を超えてはいるものの昨年よりも肯定的評価のポイントを落としている。部活動については、週2日の休養日の設定、部員数の減少、社会体育の広がりなど大きな変化に対応していかなければならない。
- No.3「わかる授業に努めている」で95.7%の肯定的自己評価であるが、No.6「生徒の学力は向上している」で肯定的評価は47.8%である。「努めている」とはいうものの、我々の取組は結果に現れているとは言えない。計画、研修と具体的な実践を教職員集団でお互いに確かめ合うことが必要ではないか。
- No.17「学校行事の充実」はこれまでの伝統を受け継いできた結果としての100%であるように思われる。行事の精選についての課題は多く、しっかりと検討したうえで、大胆な変革も必要になってくると思われる。
- 同和問題をはじめとする様々な人権課題が散見される中であって、生徒共々、我々教職員は人権・同和教育の研修にしっかりと取り組まねばならない。（No.19「人権・同和教育の充実」）

学校関係者評価の結果（令和2年2月26日実施）

角野中学校

第4回角野校区学校運営協議会において、保護者の評価、生徒アンケート、教職員の評価とそれらの考察について説明を行い、委員から以下のような意見を得た。

- 「学校はいじめのない学級・学校づくりに努めている」に保護者からの肯定的でない評価が23%である。いじめには敏感になっている。引き続き次年度も重点指導をお願いしたい。
「部活動は生徒にとって充実した活動になっている」に保護者の肯定的でない評価が20.6%、生徒の肯定的評価も86.9%と前年度より5ポイント減少している。思ったより充実していないようだ。設置する部活動の数、いじめ問題の心配がないか、などの詳細なアンケートをとってはどうか。
「生徒の学力は向上している」に教職員の評価は前年度よりも若干の肯定的評価増がみられるが、ポイントは低い。これも次年度の重点的課題に取り上げてほしい。
以上、各々の評価に出た課題を絞り、分析し、次年度に重点指導を行うよう、アンケート結果を活かしてほしい。
- 「学校は家庭との人間関係づくりに努めている」「学校はいじめのない学級・学校づくりに努めている」「先生は子どもの間違った行動を適切に指導している」という問いについて、保護者と教職員の認識の間に大きな開きがある。既に考察でもなされていることではあるが、保護者と教職員との関係をより深めていく必要を感じる。
- 学校の外にいと、学校内のことはあまりよく分からない。外から見ても分かるようにすると、外に向かって学校から発信するとかの方法や雰囲気を作ってはどうか。
- 「生徒の挨拶はよくできている」という項目に教職員の肯定的評価は56.5%と辛いものだが、地域で見ていると中学生の挨拶はよくできているように感じられる。生徒によって差があるのかも知れないが、先生方の評価が厳しいようにも思われる。
 - ・ 我々も、生徒たちが挨拶をしていないとは思わないが、この評価の結果は、もっとできるはずだ、もっと頑張れという先生方の思いの表れではないか。求めるものが高いということも言える。（学校より）
- それぞれの立場での評価の違いがよく分かった。児童・生徒自身がどう感じているのかが一番大切だと思う。生き生きと充実した学校生活を送っていれば、周囲の評価もよくなっていくのではないかと思う。困り感をもっている児童・生徒がいるならば、評価の低かった項目の底上げによってその子どもを救うことになるよう期待したい。角野校区はみんなで子どもを見守ろうと熱心に取り組まれていると感じている。

角野コミュニティ・スクールがスタートして1年間を過ごした。学校運営協議会の委員の方からも前向きなご意見をいただいた。地域・保護者の皆様は、常々「学校に協力しよう」「地域に何かできることはないか」と仰ってくださっている。貴重なご意見を生かし、計画的に、児童・生徒の健やかな成長のための教育を実践していきたいと考えている。